

AINU × KABUKI



紡がれるアイヌ伝統芸能と歌舞伎



ウケシコロとはアイヌ語で
「相続(する)」「受け継ぐ」
を意味します。

GUEST 人間国宝・歌舞伎俳優

坂東玉三郎

会場 — ウポポイ(民族共生象徴空間)体験交流ホール

2026年2月1日(日) 開演13:00(開場12:30)

観覧無料

※別途ウポポイ入場料がかかります

観覧方法 事前WEB申込み制 参加定員 325名

受付期間 2025年12月19日(金)14:00 ~ 2026年1月12日(月・祝)23:59

WEBサイトから必要事項を入力の上、お申込みください。同行者含め2名様までご応募いただけます。

※車椅子ご利用の方は、その旨を明記してください

お申込みは
こちら



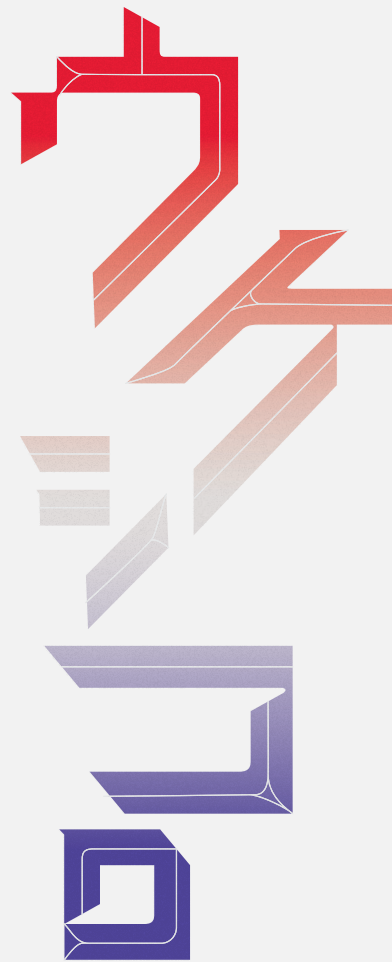
厳正なる抽選の上、当選者の方には事務局(upopoy@smsinbox.jp)から2026年1月19日(月)までにメールにてお知らせいたします。また、当日受付用の二次元コードは、1月26日(月)以降にお送りいたします。

※メールのドメイン指定受信など、受信制限機能を利用されている方は、事務局からのメールを受信できるようにあらかじめ設定してください。

※当日はウポポイ園内でパブリックビューイングも実施いたします。(定員78名)



UPOPOY
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK



紡がれるアイヌ伝統芸能と歌舞伎

歌舞伎の三大名作の一つ「義経千本桜」という演目に、アイヌ民族の衣服を着た人物が登場することをご存知でしょうか。「義経千本桜」の二段目・渡海屋（とかいや）に登場する船問屋の主人・渡海屋銀平（実は新中納言知盛）は、アイヌ文様を施した着物「厚司（あつし）」をまとうて現れます。この衣装は「アットウシ」と呼ばれる樹皮の繊維から作られるアイヌ民族の衣服が原型となっています。本公演では、江戸や上方を代表する芸能である歌舞伎に、アイヌ民族の衣服が登場するのはなぜか、その秘密を紐解きつつ、二つの伝統芸能上演をお楽しみいただきます。



第一部 トークセッション 13時～

伝統と革新～交易の向こうにみえてくるもの

現代歌舞伎界の至宝・坂東玉三郎と国立アイヌ民族博物館 館長・野本正博が、アイヌ民族と和人社会の交易が文化にもたらした影響や、アイヌ文化と歌舞伎が受け継いできたものの本質とそれぞれの今後について語ります。

ゲスト 人間国宝・歌舞伎俳優

坂東玉三郎

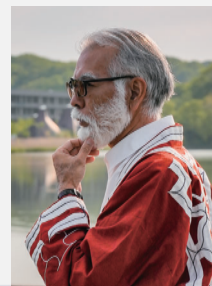
1957年、東京・東横ホール「寺子屋」の小太郎で坂東喜の字を名のり初舞台。1964年、十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座「心中刃は氷の朝日」のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。代表作『天守物語』をはじめ数々の舞台を創作。ニューヨークのメトロポリタン歌劇場に招聘され『鸞娘』を踊り、絶賛されたほか、世界的な芸術家たちとコラボレーションを展開するなど国際的に活躍。2012年、歌舞伎女方として5人目となる重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。2013年にはフランス芸術文化章最高章「コマンドゥール」を受章した。



国立アイヌ民族博物館 館長

野本正博

1985年よりポロトコタン（財団法人アイヌ民族博物館）に勤務し、2012年に常務理事兼館長に就任。アイヌ文化の伝承と人材育成の基盤を作る。国立アイヌ民族博物館の構想づくりに携わり、公益財団法人アイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部文化振興・体験交流部長、民族共生象徴空間運営本部副本部長を歴任し、2025年国立アイヌ民族博物館館長に就任。



第二部 伝統芸能の披露 14時～

ウポポイ 伝統芸能上演「イノミ」

アイヌ民族はあらゆるものに魂が宿ると考え、人間にはない力を持つものをカムイと呼びます。カムイは、彼らの世界では人間と同じような姿で暮らしており、人間の世界を訪れるときにさまざまなものの姿になって現れるといわれます。イヨマンテ（熊の霊送りの儀式）は、そのカムイに感謝の祈りを捧げ、酒や歌、踊りでもてなし、お土産とともにカムイの世界へ送り帰す重要な儀式です。アイヌ民族の芸能が祈りと共にあることを本舞台で演じます。

坂東玉三郎「残月」

天明・寛政期に大阪で活躍し、「越後獅子」などの名曲を生み出した峰崎勾当による作品。勾当の門人であり、若くして世を去った松屋某の娘（法名「残月信女」）を偲んで作られた追善曲です。娘は、箏や三弦の名手であったと伝えられています。短く儚い生涯を終えた娘と、月の情景とを重ねて描いた地唄の名曲。琴の音が響く静寂の中で、臘夜に淡く光る月のように浮かび上がる玉三郎の舞姿は、儚くも美しい夢を見ているかのようです。

最新情報・詳細は
ウポポイWEBサイトへ

お問合せ：公益財団法人 アイヌ民族文化財団（ウポポイ内）

住所/〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番2号 TEL/0144-82-3914 営業時間/9:00～17:00

■入場料（税込）/大人（一般）1,200円、高校生（一般）600円、中学生以下無料 WEB購入限定「200円割引入場券」を発売中！

